

## 【通関業セミナーの開催】

日本通関業連合会では、従来から各通関業会会員に対し、円滑な業務遂行のための支援や関連知識向上等のため、タイムリーなテーマを選定したセミナーを無料で実施しております。本年度は、横浜通関業会との共催により、通関業セミナーを以下の予定で開催しますので、通関業会会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成22年3月18日（木） 午後1時半から3時半

会 場：メルパルク YOKOHAMA 2階「Fujihoeiの間」

横浜市中央区山下町16 （電話：045-662-2221）

定 員：300名

講 師：森信 茂樹氏（中央大学法科大学院教授、法学博士、東京財団上席研究員）

演 題：「グローバル化社会における税制改革」

申 込：各通関業会の会員であればどなたでも参加可能ですが、定員が300名と限られておりますので、お早目のお申込みをお願いします。

なお、多くの会員の皆様にご参加を頂くために、お申込み状況によっては、1会員当たりの参加者数に限度を設けさせて頂く場合もありますので、この点ご理解をお願いします。

お申込みは、原則としてメールでお願いします。

所属通関業会、会員名、参加者数、参加代表者の氏名・連絡先（電話、メールアドレス（またはFAX番号））をご記入の上、以下までお申込み願います。

申込先：(社) 日本通関業連合会 セミナー係

E-Mail：[seminar@tsukangyo.or.jp](mailto:seminar@tsukangyo.or.jp)

FAX：03-3508-7796

（講師の紹介）

森信 茂樹（もりのぶ しげき）氏は、1950年広島県生まれ。

1973年大蔵省（現財務省）入省、主税局調査課長、主税局税制第二課長、主税局総務課長、大阪大学法学研究科教授などを経て2003年東京税関長、2005年財務総合政策研究所所長、東京大学法学部客員教授、コロンビア・ロースクール客員研究員、2006年に退官。

大蔵省・財務省で主に税務畑を歩んで来られた経験をもとに、数々の税制の提言を行うとともに、2006年にジャパン・タックス・インスティテュートを立ち上げ、税制全般にわたる改革案の提言、シンポジウム開催等の活動を行っておられる。

2007年からは東京財団の上席研究員として、「税と社会保障の一体化」の研究プロジェクトを立ち上げ、給付付き税額控除の具体的提言や納税者番号の導入の提言等を行われている。

主な著書としては、「給付つき税額控除」（中央経済社 2008年）、「抜本的税制改革と消費税 経済成長を支える税制へ」（大蔵財務協会）、「日本が生まれ変わる税制改革」（中公新書ラクレ）、「わが国所得税課税ベースの研究」（日本租税研究協会）、「日本の税制」（PHP新書）がある。